



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



清々しい静寂の中 早朝例会 行われる

開催日：8月27日 会場：十輪寺



西田光衛十輪寺住職

青松R.C.の30周年記念に各人一字ずつの額を書かせていただきました。私は常に忘れてはならぬ『恩』の一字を選びました。

小さい頃から「恩を忘れるな」と教育されてきました。勿論戦前です。昭和14～15年でしょうか。何処でおぼえたか記憶はありません。食事の直前に大声でこれをとなえさせられました。

『箸とらば天地（あめつち）御代の御恵（おんめぐみ）
父母や師匠の恩を忘るな。いただきます。』

と言うのです。要約すると

『食事の時は天と地の恵み、そして御代とは天皇陛下「大君（おおきみ）」

即ち治世者の恵み、さらに自分を産んでくださった父や母、そして育てていただいた先生の恩をいつも忘れてはいけません』ということです。他に仏教では父母・国王・衆生（しゅじょう＝社会）三宝（仏法僧）を四恩と説きます。



森脇職業奉仕委員長より
プログラム紹介



西田光衛会員（十輪寺住職）作



静寂の空間



朝食風景





President

会長の時間

皆さん、おはようございます。本日は、西田会員のご好意によりまして、例年のように十輪寺さんの本堂で早朝例会を計画して頂いております。職業奉仕委員会の皆さんにはお世話をかけております。

朝の空気を一杯吸い込んで、西田会員のお話をお聴きしながら、日頃の雑念を離れ清々しい一時を過ごして頂きたいと思っております。



Donation

ニコニコ報告

西田 光衛

いつも来て頂きます。

竹原 俊三	増田耕太郎	菱田 克己
岩崎 勇人	砂川 仁史	志方 正昭
嶋谷 拓雄	大橋 卓司	田水 敬雄
亀本 泰司	都倉 達殊	井野 隆弘
菊地 敬子	京谷 慎平	中右 和宏
中谷 利幸	田中 申明	田中 浩行
鹿間 行雄	栗原 康高	森脇 祥文
濱中 幹雄	澤田 孝彦	岡本 崇司
植杉成一郎	青木 裕加	垣迫 雅一
大森 千里	柿木 國夫	矢野 聡

本日は、西田会員お世話になります。有難うございます。



Secretary

幹事報告

第7回 通算1371回

1. 回覧その他

第6回チャリティー地区親睦ゴルフ大会のご案内が届いております。

日時：2008年10月6日(月)

場所：大宝塚ゴルフクラブ

申込締切：9月13日

国際ロータリー第2680地区クラブ奉仕セミナー「楽しいクラブライフのために」アンケート記入のお願いが入会3年未満会員宛に届いております。

財団法人米山梅吉記念館より館報が届いております。

加古川平成ロータリークラブよりチャリティコンサートの案内が届いております。

日赤より献血情報が届いております。

Neighbor-club information

近隣クラブINFORMATION

クラブ名	変更内容	日時・場所
高砂ロータリークラブ	移動例会 高砂青松R.C.との合同例会	9/19(金) 於:高砂神社会館
〃	休会(定款第6条1節cによる)	10/10(金)
加古川中央ロータリークラブ	時間変更	9/11(木)18:00~20:00 於:加古川プラザホテル1Fポールルーム
〃	職場例会	9/18(木) 於:(株)ノーリツ明石本社工場
明石西ロータリークラブ	移動例会	9/18(木) 於:せとレ
〃	休会(定款第6条1節cによる)	10/2(木)
加古川ロータリークラブ	休会(定款第6条1節cによる)	9/23(火)
明石北ロータリークラブ	明石R.C.と合同例会	9/30(火) 9/24(水)

例会記録 2008. 8. 27 (水) 通算1447回

来訪ロータリ アン報告
 松岡和治様(姫路南R.C.) 石田康世様(姫路南R.C.)
 室田隆重様(姫路中央R.C.) 西川敏彦様(高砂R.C.)
 中尾康三様(高砂R.C.) 中野哲郎様(高砂R.C.)
 片岡正様(高砂R.C.) 作田慎治様(高砂R.C.)

出席報告
 8月6日 会員数 52名 欠席者 8名 出席率 81.25% <修正による>
 (この内出席免除者9名)
 8月27日 会員数 52名 欠席者 14名 出席率 69.57%
 (この内出席免除者9名)

播磨ゆかりの偉人伝 ⑦

ジョセフ・ヒコ 漂流で人生一転した「新聞の父」

「波乱万丈の人生」とは、こんな人物のことをいうのだろう。太平洋をまたにかけ日本、アメリカを舞台にしての栄光と挫折の数々…。

ジョセフ・ヒコは天保7(1836)年、播磨国加古郡閑村(現加古郡播磨町)で生まれた。幼名は彦太郎。その後、母が再婚した浜田家で育てられたこともあって、浜田彦蔵と名乗っていた。

13歳の時に母を亡くしたヒコは、栄力丸の乗組員として江戸から播磨への帰途、その船が紀伊半島沖で難破。約2カ月間も太平洋を漂流した。運が悪ければ、そこで命を落としていたかもしれない。

しかし、ヒコには苦境の中、幸運が待ち構えていた。南鳥島付近で、アメリカの商船に救助され、サンフランシスコに上陸。翌年、帰国のため船を乗り継いでマカオまで来たが、幕府の漂流民への冷たい仕打ちを耳にし、日本に帰らずアメリカへUターンした。

サンフランシスコに戻ったヒコが、そこで出会ったのが銀行家で税関長のサンダース。ヒコにとって彼は最高の理解者だった。日本人として初めてアメリカ大統領(当時はピアース)との会見が実現したのはサンダースの計らい。ミッションスクールで教育を受け、洗礼を受けてジョセフ・ヒコと名乗るようになったのもサンダースの強い勧めからだ。

ヒコは安政6(1859)年、9年ぶりに帰国を果たし、神奈川領事館の通訳官に採用されたが、当時の日本は尊皇攘夷思想が蔓延のころ。アメリカ人になったヒコは身の危険を感じ2年後、アメリカに一時帰国し、リンカーン大統領とも会見した。

その後、ヒコは実業界に転進、横浜・長崎で貿易業を営んだ。また、日本最初の新聞を発行。「新聞の父」といわれたヒコはアメリカ人として波乱の生涯を終えている。

(主な参考文献=ビジュアルブックス編集委員会・編「時代のパイオニアたち」神戸新聞総合出版センター)



プログラム予定

9月6日(土)	9月10日(水)	9月19日(金)	9月24日(水)
マーチング・イン高砂 於:高砂市総合体育館 【社会奉仕委員会担当】	卓話 西中 会員	合同例会 (ホスト高砂R.C.) 講師 淳心学院中高等学校 校長 マルゴット氏 於:高砂神社会館	新世代委員会担当

会長 鹿間行雄 幹事 岡本崇司 クラブ会報委員長 菊地敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)